NIE実践報告

1．タイトル：☆新聞から社会の動きを読み取る力を養う授業

2．学校名

愛知県立緑丘商業高等学校

3．実践者名（代表者名）

小川　昌己

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

課題研究　１５人

6．単元（本時の学習課題）名

社会情勢を理解し自らの考えを構築する

7．目標（狙い）

新聞の構成を理解して読む力を身に付ける。新聞から社会情勢を理解する。最後に、社会の動きに対して自らの考えを持ち、意見を述べる。

8．評価の視点

新聞から社会情勢を正しく読み取ることができ、その変化に対して自らの考えを作り出すことができたか。また、その考えを意見として相手にわかりやすく伝えることができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数

（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「新聞の構成と文章表現」(10時間)　「新聞記事の収集方法」(4時間)
「新聞記事からの提言」(16時間)　　合計　30時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

(1)新聞の構成を理解する。(2時間)
(2)新聞を読ませ社会情勢を読み取る。(8時間)
(3)新聞記事を収集させ社会の変化を理解する。(4時間)
(4)社会の変化に対して考察する。(5時間)
(5)自らの考えを意見としてまとめる。(6時間)
(6)提言するためのコミュニケーション能力を育成する。(5時間)

(留意点)
・新聞に書かれている理解できない用語はインターネットなどを利用して調べさせる。
・数社の新聞を比較し相違点を見つけさせ、社会情勢を多面的に見つめさせる。
・記事の収集を時系列に行わせ、時間の経過とともに変化する状況を理解させる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

新聞を読み内容を理解することは難しかった。しかし、読み続けると新聞にはたくさんの情報が詰まっていることを知った。高校を卒業して社会で歩んでいくとき、知っていたほうがよいことも多く書かれていた。自分自身の知識を豊かにするために、今後も新聞を読み続けていこうと考えた。

12．成果と課題

新聞が情報を収集するための有効な手段であることを理解させ、新聞記事から社会の動きを読み取る力を育てることができた点では大変評価できる。
新聞を読み取る力を育てるためには、用語などの理解が不可欠となるため生徒の状況を把握した取り組みが大切となる。また、社会情勢を多面的に考えさせ、語彙力を高め豊かな表現ができるよう指導していくことを心がけていくことが必要である。